

センダイソウ

Saxifraga sendaica

ユキノシタ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 II

種
子
植
物



溪流沿いや常に水が滴る断崖の陰地に生える高さ40cmほどの多年草。互生の葉は長い柄があって基部は膨らんで茎を抱き、茎の下部にはさや状に苞葉がつく。10月に散房状の花序に白色の細い5弁花をつける。雄しべの橙色の葯が目立つ。ソハヤキ要素の植物で、県内の生育地はごく一部に限られ、個体も極めて少ない。出水時の流出や人による採取で、個体数の減少や消滅が懸念される。

(写真・文：阿孫久見)

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地), 祖母・傾山地

分布域 本州(紀伊半島), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分)